



「北条小ぶどう」

結局は人なんだよなあ。つながるのも、実るのも

(北条町人権フェスティバル出品作品 部分)

『風の吹き回し』(当世北条小事情)

割り切れぬ思い

通りがかった4年生の教室からただならぬ気配。漫画で表すなら子どもたちの頭から湯気が出ているようなそんな空気感でした。この日の学習の目当ては「割って割って割りまくろう」。やっていたのは少数の割り算です。割り算をするためにはかけ算も引き算も足し算も使わなければなりません。おまけに小数点がつけば位取りにも気を遣うし、桁数も割られる数が3桁で割る数が2桁ときいていますから大人ならすぐに諦めて電卓を取り出してしまうかもしれません。落ち着いて、相当丁寧にやらなければ正解にはたどり着かないのです。

そう、困難な問題は分割して、一つ一つ場合分けや順序立てをしながら正しい答えに迫ろうとする丁寧な心、算数では単なる計算力だけではなく、そんな心を作ること学ぶのです。そもそも世の中には簡単に解決できないことが多いものです。どちらかと言えば決して電卓などでは正解を導き出せないことの方が多いでしょう。それでもわたしたちは前へ進まなければなりません。粘り強く考える頭とタフで丁寧な心が必要です。

教室の4年生達は、一生懸命頭をひねっています。やっと出したと思った答えが間違っていることに気がついて、もう一度やり直す。その内に時間が来てしまって最後までやり終えることができず悔しそうな子もいます。大丈夫だ。その気持ちがあれば前へ進める。逃げるな。諦めるな。

加減乗除のその果てに、割っても割り切れない思いを抱えながら、2学期もそして2021年も終わろうとしています。本年もお世話になりました。良いお年をお迎えくださいますよう。



カー杯がんばってプリントを提出

ぶどう学習発表会



発表会の様子

3年生は総合的な学習のテーマの一つとして地域の特産物であるぶどうについて学習してきました。ぶどう農家さんを訪ねたり、いろいろな方法で調べたりしました。そしてその学習の一つとして前庭に建てたぶどうのハウスに関わってきました。ぶどうのハウスは3年生のいる西校舎から一番よく見えます。約1年前にこのハウスが建てられたときからその変化を見ていました。ぶどうの様子を観察し、このハウスに「みんなのぶどうハウス」と名前をつけ、その看板を立て、とうとうぶどうのキャラクター「つぶさん」もつくり出しました。

12月15日(水)は、これまでの学習の総まとめを発表する日でした。この発表にハウスづくりでお世話になった地域の方をお招きしたとこ

ろ、20人ほどのお客様をお迎えすることができました。

3年生の発表は立派でした。この日に至るまでの時間と視点の幅広さを感じさせるとともに、自分たちが関わってきた体験がしっかりと盛り込まれていました。そうした積み重ねがあるからでしょう。子どもたちの発表の声も力強く、分担しながら自分たちのやってきたこと考えたことを気持ちとともにしっかりと伝えていました。参観された方からも口々に「良かった」「感動した」という声が聞かれ、少しだけご恩返しにもなった気がします。ここに大きな実りを見たように思いました。

そして、更にうれしかったのは、発表の中に「この学習を2年生にも引き継いでいこうと思います。」と、来年度以降へつなげる言葉があったことです。早速翌16日(木)に、今度は2年生を相手に発表をしました。2年生も一生懸命聞いて受け止めていました。



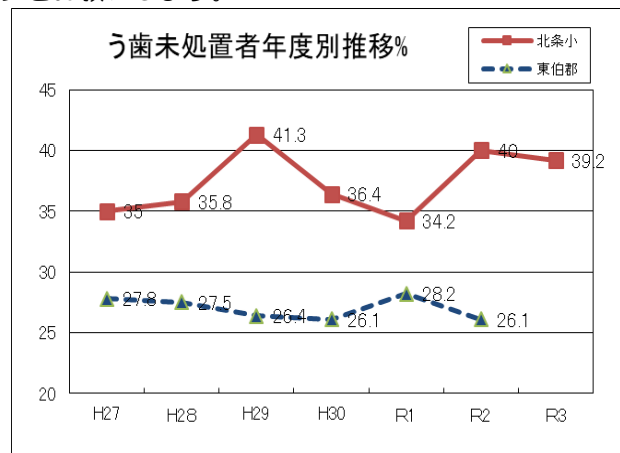
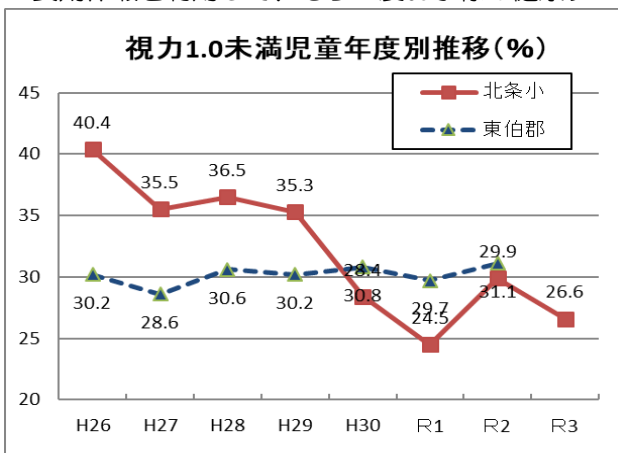
3年生の考えたキャラクター
デラウェアの「つぶさん」

学校保健委員会資料より

12月8日(水)に行われた学校保健委員会については、先日のほけんだより「みんなげんきになあれ」でもお伝えしておりますが、ここではこの日の資料から二つのグラフを紹介します。

左側は視力に関するものです。視力1.0未満の児童の割合がここ2・3年減っています。一方で右側はむし歯の未処置者を表すもので、東伯郡の平均に比べ本校は歯の治療が進んでいないように見えます。

長期休暇を利用して、もう一度お子様の健康チェックをお願いします。



新しい先生の紹介 ～田中眞弓先生～

12月21日(火)から、新たに町の学習支援員さんとして田中眞弓先生にお願いいただくことになりました。昨年度もお世話になった先生です。1年生を中心に関わっていただきます。

